

| 改 正 後 | 現 行 |
|--|--|
| 森林整備保全事業数量算出要領（施工パッケージ型積算方式）について 別紙 森林整備保全事業数量算出要領 （施工パッケージ型積算方式） 令和 6 年度 林野庁 目次 第 1 編 共通編 第 1 章 基本事項 1. 適用範囲 2. 数量計算方 3. 構造物の数量から控除しないもの 4. 構造物数量に加算しないもの 5. 数量計算の単位及び数 <u>6. 数量計算の単位及び数</u> <u>7. 図面表示単位</u> <u>8. 単位体積質量</u> <u>9. 数量の算出</u> 第 2 編 共通工 第 1 章 土工 ① 土量変化率等 ② 土工 ②-1 掘削 ②-2 土砂等運 ②-3 整 ②-4 路体（築堤）盛土・路床盛土 ③ 作業土工（床掘工） ④ 作業土工（埋戻工） ⑤ 人力運搬工 ⑥ 安定処理 第 2 章 共通工 ① 法面整形工（ICT） ② 吹付法面とりこわし工 ③ プレキャストコンクリート板設置工 ④ 人工張芝工 ⑤ 基礎・裏込砕石工 ⑥ コンクリートブロック積（張）工 ⑦ 石積（張）工 ⑧ 平石張工 ⑨ 場所打擁壁工（1） ⑩ 場所打擁壁工（2） ⑪ プレキャスト擁壁工 ⑫ 補強土壁工（帯鋼補強土壁、アンカー補強土壁、ジオテキスタイル補強土） ⑬ 補強盛土工 ⑭ 排水構造物工 ⑮ 排水構造物工 現場打ち水路（本体） | 森林整備保全事業数量算出要領（施工パッケージ型積算方式）について 別紙 森林整備保全事業数量算出要領 （施工パッケージ型積算方式） 令和 5 年度 林野庁 目次 第 1 編 共通編 第 1 章 基本事項 1. 適用範囲 2. 数量計算方 3. 構造物の数量から控除しないもの 4. 構造物数量に加算しないもの 5. 数量計算の単位及び数 6. <u>歩掛単価表等の単位及び数値</u> 7. <u>図面表示単位</u> 8. <u>単位体積質量</u> 9. <u>数量の算出</u> 第 2 編 共通工 第 1 章 土工 ① 土量変化率等 ② 土工 ②-1 掘削 ②-2 土砂等運 ②-3 整 ②-4 路体（築堤）盛土・路床盛土 ③ 作業土工（床掘工） ④ 作業土工（埋戻工） ⑤ 人力運搬工 ⑥ 安定処理 第 2 章 共通工 ① 法面整形工（ICT） ② 吹付法面とりこわし工 ③ プレキャストコンクリート板設置工 ④ 人工張芝工 ⑤ 基礎・裏込砕石工、 <u>基礎・裏込栗石工</u> ⑥ コンクリートブロック積（張）工 ⑦ 石積（張）工 ⑧ 平石張工 ⑨ 場所打擁壁工（1） ⑩ 場所打擁壁工（2） ⑪ プレキャスト擁壁工 ⑫ 補強土壁工（帯鋼補強土壁、アンカー補強土壁、ジオテキスタイル補強土） ⑬ 補強盛土工 ⑭ 排水構造物工 ⑮ 排水構造物工 現場打ち水路（本体） |

- ⑯ 排水構造物工 現場打ち集水桝・街渠桝（本体）
- ⑰ 軟弱地盤処理工（サンドマット工）
- ⑱ 軟弱地盤処理工（粉体噴射攪拌工（D J M工法））
- ⑲ アンカー工（ロータリーパーカッション式）
- ⑳ 構造物とりこわし工
- ㉑ コンクリート削孔工
- ㉒ 吸出し防止材設置工
- ㉓ 目地・止水板設置工
- ㉔ 旧橋撤去工
- ㉕ かご工
- ㉖ 発泡スチロールを用いた超軽量盛土工
- ㉗ 現場取卸費
- ㉘ 函渠工（1）
- ㉙ 函渠工（2）
- ㉚ 殻運搬

第3章 コンクリート工

- ① コンクリート工
- ② 型枠工
- ③ 型枠工（省力化構造）

第4章 河川海岸

- ① 消波根固めブロック工
- ② 消波根固めブロック工（ブロック撤去工）
- ③ 捨石工

第5章 河川海岸維持

- ① 巨石積（張）工
- ② 木杭打工
- ③ 護岸基礎ブロック工
- ④ かごマット工（スロープ型）
- ⑤ 袋詰玉石工
- ⑥ 笠コンクリートブロック据付工

第6章 治山・地すべり防止工

- ① ソイルセメント工
- ② 地すべり防止工（集排水ボーリング工）

第7章 道路舗装

- ① 路盤工
- ② アスファルト舗装工
- ③ 踏掛版

第8章 道路付属施設

- ① 立入り防止柵工
- ② 雪崩予防柵設置工
- ③ 落下物等防止柵設置工

（削る）

- ④ 道路付属物設置工
- ⑤ スノーポール設置・撤去工

第9章 道路維持修繕

- ① 路面切削工
- ② 舗装版破碎工
- ③ 舗装版切断工
- ④ 舗装版クラック補修工
- ⑤ 橋梁補強工（鋼板巻立て）（1）
- ⑥ 橋梁補強工（鋼板巻立て）（2）

- ⑯ 排水構造物工 現場打ち集水桝・街渠桝（本体）
- ⑰ 軟弱地盤処理工（サンドマット工）
- ⑱ 軟弱地盤処理工（粉体噴射攪拌工（D J M工法））
- ⑲ アンカー工（ロータリーパーカッション式）
- ⑳ 構造物とりこわし工
- ㉑ コンクリート削孔工
- ㉒ 吸出し防止材設置工
- ㉓ 目地・止水板設置工
- ㉔ 旧橋撤去工
- ㉕ かご工
- ㉖ 発泡スチロールを用いた超軽量盛土工
- ㉗ 現場取卸費
- ㉘ 函渠工（1）
- ㉙ 函渠工（2）
- ㉚ 殻運搬

第3章 コンクリート工

- ① コンクリート工
- ② 型枠工
- ③ 型枠工（省力化構造）

第4章 河川海岸

- ① 消波根固めブロック工
- ② 消波根固めブロック工（ブロック撤去工）（0.25 t 以上 35.5 t 以下）
- ③ 捨石工

第5章 河川海岸維持

- ① 巨石積（張）工
- ② 木杭打工
- ③ 護岸基礎ブロック工
- ④ かごマット工（スロープ型）
- ⑤ 袋詰玉石工
- ⑥ 笠コンクリートブロック据付工

第6章 治山・地すべり防止工

- ① ソイルセメント工
- ② 地すべり防止工（集排水ボーリング工）

第7章 道路舗装

- ① 路盤工
- ② アスファルト舗装工
- ③ 踏掛版

第8章 道路付属施設

- ① 立入り防止柵工
- ② 雪崩予防柵設置工
- ③ 落下物等防止柵設置工
- ④ トンネル内装板設置工
- ⑤ 道路付属物設置工
- ⑥ スノーポール設置・撤去工

第9章 道路維持修繕

- ① 路面切削工
- ② 舗装版破碎工
- ③ 舗装版切断工
- ④ 舗装版クラック補修工
- ⑤ 橋梁補強工（鋼板巻立て）（1）
- ⑥ 橋梁補強工（鋼板巻立て）（2）

- ⑦ 橋梁補強工（コンクリート巻立て）（1）
- ⑧ 橋梁補強工（コンクリート巻立て）（2）
- ⑨ 橋梁地覆補修工
- ⑩ 橋梁補修工（支承取替工）
- ⑪ 現場溶接鋼桁補強工
- ⑫ 落橋防止装置工
- ⑬ 道路除草工
- ⑭ 路面清掃工（人力清掃工）
- ⑮ 側溝清掃工（人力清掃工）
- ⑯ 集水柵清掃工（人力清掃工）
- ⑰ トンネル漏水対策
- ⑱ 沓座拡幅工

（削る）

第10章 橋梁工

- ① 鋼橋床版工
- ② 橋梁排水管設置工

第11章 その他

- ① 現場発生品及び支給品運搬

第1編 共通編

第1章 基本事項

1～5 （略）

（削る）

6～8 （略）

第2編 共通工

第1章 土工

① （略）

② 土工

- ②-1 掘削
- 1・2 （略）

3. 区分

区分は、数量算出項目及び項目一覧表のとおりとする。

- ⑦ 橋梁補強工（コンクリート巻立て）（1）
- ⑧ 橋梁補強工（コンクリート巻立て）（2）
- ⑨ 橋梁地覆補修工
- ⑩ 橋梁補修工（支承取替工）
- ⑪ 現場溶接鋼桁補強工
- ⑫ 落橋防止装置工
- ⑬ 道路除草工
- ⑭ 路面清掃工（人力清掃工）
- ⑮ 側溝清掃工（人力清掃工）
- ⑯ 集水柵清掃工（人力清掃工）
- ⑰ トンネル漏水対策
- ⑱ 沓座拡幅工
- ⑲ 路肩整正工（人力による土はね）

第10章 橋梁工

- ① 鋼橋床版工
- ② 橋梁排水管設置工

第11章 その他

- ① 現場発生品及び支給品運搬

第1編 共通編

第1章 基本事項

1～5 （略）

6. 歩掛単価表等の単位及び数値

歩掛単価表等における単位及び数値は、表6-1に示すものとする。

表6-1 歩掛単価表等の単位及び数値

| 項目 | 種別 | 単位 | 数値 | 摘要 |
|------|---------------|----|-----------|--------|
| 労務 | 一般労務運転労務 | 人 | 小数位以下2位止 | 3位四捨五入 |
| | | 人 | 〃 2 〃 | 3 〃 |
| 機械経費 | 機械経費（時間） | h | 小数位以下1位止 | 2位四捨五入 |
| | 機械経費（日）燃料 | 日 | 〃 2 〃 | 3 〃 |
| | | L | 有効数字2桁（注） | 四捨五入 |
| 材料 | 一般資材（指定のないもの） | — | 小数位以下1位止 | 2位四捨五入 |
| | | — | 1日当り作業量 | 2位四捨五入 |
| その他 | 補正值・係数 | — | 小数位以下1位止 | 2位四捨五入 |
| | | — | 小数位以下2位止 | 3位四捨五入 |
| | | 円 | 小数位以下2位止 | 3位四捨五入 |

7～9 （略）

第2編 共通工

第1章 土工

① （略）

② 土工

- ②-1 掘削
- 1・2 （略）

3. 区分

区分は、数量算出項目及び項目一覧表のとおりとする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

| 項目 | 区分 | | | | | | | | | | | 単位 | 数量 | 備考 |
|---------|----|------|------|-------|-------|------|------|---------|----------|---------|------|----------------|----|----|
| | 土質 | 施工方法 | (削る) | 押土の有無 | 障害の有無 | 施工数量 | 火薬使用 | 火薬使用の有無 | 破砕片除去の有無 | 集積押土の有無 | 作業内容 | | | |
| 掘削 | ○ | ○ | (削る) | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | m ³ | | |
| 押土(ルーズ) | ○ | × | (削る) | × | × | × | × | × | × | × | × | m ³ | | |
| 積込(ルーズ) | ○ | × | (削る) | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | m ³ | | |
| 人力積込 | ○ | × | (削る) | × | × | × | × | × | × | × | × | m ³ | | |
| 転石破砕 | × | × | (削る) | × | × | × | × | ○ | × | × | × | m ³ | | |
| 掘削(ICT) | ○ | ○ | (削る) | × | ○ | ○ | × | × | × | × | × | m ³ | | |

(2)・(3) (略)

(削る)

(4)～(6) (略)

4 (略)

②-2 土砂等運搬

1・2 (略)

3. 区分

区分は、土砂等発生現場、積込機種・規格、土質、DID 区間の有無、運搬距離とする。

(1)～(3) (略)

(4) 土質区分

1) 標準

- ① 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
- ② 軟岩
- ③ 硬岩

2) 小規模、現場制約あり

- ① 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

4 (略)

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

| 項目 | 区分 | | | | | | | | | | | 単位 | 数量 | 備考 |
|---------|----|------|----|-------|-------|------|------|---------|----------|---------|------|----------------|----|----|
| | 土質 | 施工方法 | 岩質 | 押土の有無 | 障害の有無 | 施工数量 | 火薬使用 | 火薬使用の有無 | 破砕片除去の有無 | 集積押土の有無 | 作業内容 | | | |
| 掘削 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | m ³ | | |
| 押土(ルーズ) | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | m ³ | | |
| 積込(ルーズ) | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | m ³ | | |
| 人力積込 | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | m ³ | | |
| 転石破砕 | × | × | × | × | × | × | × | ○ | × | × | × | m ³ | | |
| 掘削(ICT) | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | × | × | × | × | × | m ³ | | |

(2)・(3) (略)

(4) 岩質区分

1) 軟岩

- ① 軟岩(I)
- ② 軟岩(II)

2) 硬岩

- ① 中硬岩
- ② 硬岩I

(5)～(7) (略)

4 (略)

②-2 土砂等運搬

1・2 (略)

3. 区分

区分は、土砂等発生現場、積込機種・規格、土質、DID 区間の有無、運搬距離とする。

(1)～(3) (略)

(4) 土質区分

1) 標準、小規模、現場制約あり

- ① 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
- ② 軟岩
- ③ 硬岩

2) 小規模

- ① 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

4 (略)

- ②-3 (略)
- ②-4 路体(築堤)盛土・路床盛土
- 1・2 (略)

3. 区分

区分は、施工幅員、作業形態、土質、施工数量、障害の有無とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

| 項目 | 区分 | 施工幅員 | 施工数量 | 障害の有無 | 単位 | 数量 | 備考 |
|---------------|----|------|------|-------|----------------|----|----|
| 路体(築堤)盛土 | | ○ | ○ | ○ | m ³ | | |
| 路床盛土 | | ○ | ○ | ○ | m ³ | | |
| 路体(築堤)盛土(ICT) | | × | ○ | ○ | m ³ | | |
| 路床盛土(ICT) | | × | ○ | ○ | m ³ | | |

- ③~⑥ (略)

第2章 共土工

① 法面整形工 (ICT)

1. 適用

盛土法面整形工及び切土法面整形工に適用する。

- 2・3 (略)

- ②~⑤ (略)

⑥ コンクリートブロック積(張)工

1. 適用

コンクリートブロック積(張)工及び緑化ブロック積工に適用する。
 なお、コンクリートブロック積工は、間知ブロック積及び大型ブロック積を対象とし、コンクリートブロック張工は、間知ブロック張、平ブロック張及び連節ブロック張を対象とする。

- 2 (略)

3. 区分

区分は、数量算出項目及び区分一覧表のとおりとする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

① 間知ブロック積、大型ブロック積

| 項目 | 区分 | 鉄筋規格 | 鉄筋 10 m2 当り使用量 | ブロック規格 | 大型ブロック質量 | 水抜きパイプの有無 | 単位 | 数量 | 備考 |
|---------|----|------|----------------|--------|----------|-----------|----------------|----|----|
| 間知ブロック積 | | ○ | ○ | × | × | × | m ² | | |
| 大型ブロック積 | | × | × | ○ | ○ | ○ | m ² | | |

- ②-3 (略)
- ②-4 路体(築堤)盛土・路床盛土
- 1・2 (略)

3. 区分

区分は、施工幅員、作業形態、土質、施工数量、障害の有無とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

| 項目 | 区分 | 施工幅員 | 施工数量 | 障害の有無 | 単位 | 数量 | 備考 |
|---------------|----|------|------|-------|----------------|----|----|
| 路体(築堤)盛土 | | ○ | ○ | ○ | m ³ | | |
| 路床盛土 | | × | ○ | ○ | m ³ | | |
| 路体(築堤)盛土(ICT) | | (新) | ○ | ○ | m ³ | | |
| 路床盛土(ICT) | | (新) | ○ | ○ | m ³ | | |

- ③~⑥ (略)

第2章 共土工

① 法面整形工 (ICT)

1. 適用

盛土法面整形工及び切土法面整形工に適用する。

- 2・3 (略)

- ②~⑤ (略)

⑥ コンクリートブロック積(張)工

1. 適用

コンクリートブロック積(張)工に適用する。

- 2 (略)

3. 区分

区分は、数量算出項目及び区分一覧表のとおりとする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

① コンクリートブロック積、大型ブロック積

| 項目 | 区分 | 鉄筋規格 | 鉄筋 10 m2 当り使用量 | ブロック規格 | (新設) | 水抜きパイプの有無 | 単位 | 数量 | 備考 |
|-------------|----|------|----------------|--------|------|-----------|----------------|----|----|
| コンクリートブロック積 | | ○ | ○ | × | (新設) | × | m ² | | |
| 大型ブロック積 | | × | × | ○ | (新設) | ○ | m ² | | |

②コンクリートブロック張

| 項目 | 区分 | | | | | | | | | | | | | 単位 | 数量 | 備考 |
|---------|----------|-----|--------|---------|-------|----------------------------|---------------|------------------------------------|------|------------|---------|-----------|---------|----------------|----|----|
| | 間知ブロック規格 | (削) | ブロック質量 | 平ブロック規格 | 裏込材規格 | 裏込材 10m ² 当り使用量 | 胴込・裏込コンクリート規格 | 胴込・裏込コンクリート 10m ² 当り使用量 | 連結方法 | 連結鉄筋(鋼線)規格 | 遮水シート規格 | 吸出し防止材の有無 | 連結金具の有無 | | | |
| 間知ブロック張 | ○ | (削) | × | × | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | × | × | × | m ² | | |
| 平ブロック張 | × | (削) | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | m ² | | |
| 接続ブロック張 | × | (削) | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | m ² | | |

③ (略)

②コンクリートブロック張

| 項目 | 区分 | | | | | | | | | | | | | 単位 | 数量 | 備考 |
|---------|----------|------|--------|---------|-------|----------------------------|---------------|------------------------------------|------|------------|---------|-----------|---------|----------------|----|----|
| | 間知ブロック規格 | 作業区分 | ブロック質量 | 平ブロック規格 | 裏込材規格 | 裏込材 10m ² 当り使用量 | 胴込・裏込コンクリート規格 | 胴込・裏込コンクリート 10m ² 当り使用量 | (新設) | 連結鉄筋(鋼線)規格 | 遮水シート規格 | 吸出し防止材の有無 | 連結金具の有無 | | | |
| 間知ブロック張 | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | (新) | × | ○ | × | × | m ² | | |
| 平ブロック張 | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | (新) | × | ○ | ○ | ○ | m ² | | |
| 接続ブロック張 | × | ○ | ○ | × | × | × | × | × | (新) | ○ | ○ | ○ | × | m ² | | |

③ (略)

④胴込・裏込コンクリート、胴込・裏込材（砕石）、遮水シート張、吸出し防止材（全面）設置、植樹、現場打基礎コンクリート、現場打小口止コンクリート、現場打横帯（隔壁）コンクリート、現場打天端コンクリート、プレキャストブロック、プレキャスト基礎ブロック、プレキャスト小口止ブロック、プレキャスト横帯（隔壁）ブロック、プレキャスト巻止ブロック

| 項目 | 区分 | | | | | | | | | | |
|-------------------------|---------|----------|-------|---------|---------------|-------------|---------|--------|----------------|----|----|
| | ブロックの種類 | 大型ブロック質量 | 裏込材規格 | 遮水シート規格 | 胴込・裏込コンクリート規格 | 現場打コンクリート規格 | 基礎砕石の有無 | 養生工の種類 | 単位 | 数量 | 備考 |
| 胴込・裏込コンクリート | ○ | ○ | × | × | ○ | × | × | × | m ³ | | |
| 胴込・裏込材（砕石） | ○ | × | ○ | × | × | × | × | × | m ³ | | |
| 遮水シート張 | × | × | × | ○ | × | × | × | × | m ² | | |
| 吸出し防止材（全面）設置 | × | × | × | × | × | × | × | × | m ² | | |
| 植樹 | × | × | × | × | × | × | × | × | 本 | | |
| 現場打基礎コンクリート | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | m ³ | | |
| <u>現場打小口止コンクリート</u> | × | × | × | × | × | ○ | × | ○ | m ³ | | |
| <u>現場打横帯（隔壁）コンクリート</u> | × | × | × | × | × | ○ | × | ○ | m ³ | | |
| <u>現場打天端コンクリート</u> | × | × | × | × | × | ○ | × | ○ | m ³ | | |
| <u>プレキャスト基礎ブロック</u> | × | × | × | × | × | × | × | × | m | | |
| <u>プレキャスト小口止ブロック</u> | × | × | × | × | × | × | × | × | m | | |
| <u>プレキャスト横帯（隔壁）ブロック</u> | × | × | × | × | × | × | × | × | m | | |
| <u>プレキャスト巻止ブロック</u> | × | × | × | × | × | × | × | × | m | | |

(2)・(3) (略)

(4) 大型ブロック質量区分

- ① 2,000kg/個以下
- ② 2,000kg/個超え

(5) (略)

(削る)

(6) ブロック質量区分

- ①・② (略)

※コンクリートブロック張の場合に適用

(7)～(9) (略)

(10) 連結方法区分

- ① 鉄筋又は鋼線
- ② 連結金具

④胴込・裏込コンクリート、胴込・裏込材（砕石）、遮水シート張、吸出し防止材（全面）設置、植樹、現場打基礎コンクリート、天端コンクリート

| 項目 | 区分 | | | | | | | | | | |
|--------------|---------|------|-------|---------|----------|------|---------|--------|----------------|----|----|
| | ブロックの種類 | (新設) | 裏込材規格 | 遮水シート規格 | コンクリート規格 | (新設) | 基礎砕石の有無 | 養生工の種類 | 単位 | 数量 | 備考 |
| 胴込・裏込コンクリート | × | (新) | × | × | ○ | (新) | × | × | m ³ | | |
| 胴込・裏込材（砕石） | ○ | (新) | ○ | × | × | (新) | × | × | m ³ | | |
| 遮水シート張 | × | (新) | × | ○ | × | (新) | × | × | m ² | | |
| 吸出し防止材（全面）設置 | × | (新) | × | × | × | (新) | × | × | m ² | | |
| 植樹 | × | (新) | × | × | × | (新) | × | × | 本 | | |
| 現場打基礎コンクリート | × | (新) | × | × | ○ | (新) | ○ | ○ | m ³ | | |
| <u>(新設)</u> | (新) | (新) | (新) | (新) | (新) | (新) | (新) | (新) | (新) | | |
| <u>(新設)</u> | (新) | (新) | (新) | (新) | (新) | (新) | (新) | (新) | (新) | | |
| 天端コンクリート | × | (新) | × | × | ○ | (新) | × | ○ | m ³ | | |
| <u>(新設)</u> | (新) | (新) | (新) | (新) | (新) | (新) | (新) | (新) | (新) | | |
| <u>(新設)</u> | (新) | (新) | (新) | (新) | (新) | (新) | (新) | (新) | (新) | | |
| <u>(新設)</u> | (新) | (新) | (新) | (新) | (新) | (新) | (新) | (新) | (新) | | |
| <u>(新設)</u> | (新) | (新) | (新) | (新) | (新) | (新) | (新) | (新) | (新) | | |

(2)・(3) (略)

(新設)

(4) (略)

(5) 作業区分

- ① 設置
- ② 撤去

(6) ブロック質量区分

- ①・② (略)

(新設)

(7)～(9) (略)

(新設)

③ 不要

(11) 遮水シート規格区分

①・③ (略)

(12) 連節鉄筋 (鋼線) 規格区分

①～⑤ (略)

⑥ 不要

(13) (略)

(14) ブロックの種類区分

① 間知ブロック

② 平ブロック

③ 接続ブロック

④ 緑化ブロック

⑤ 大型ブロック

※胴込・裏込コンクリートの場合は上記①④⑤

(15) 現場打コンクリート規格区分

① 18-8-25(普通)

② 18-8-40(普通)

③ 18-8-25(高炉)

④ 18-8-40(高炉)

⑤ 生コンクリート各種

(16) (略)

4. 数量算出方法

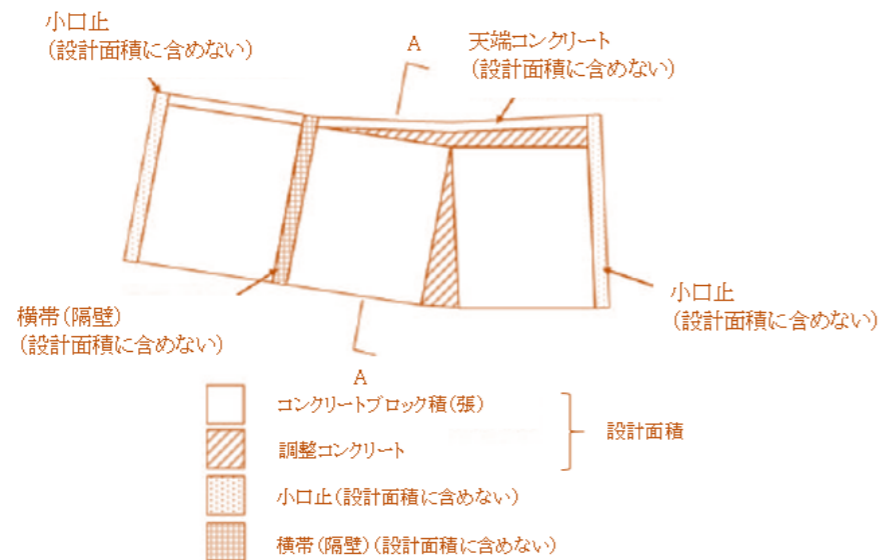
数量の算出は、「第1編 (共通編) 1章基本事項」によるほか、下記の方法による。

(1) 設置面積は調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、横帯 (隔壁)、天端コンクリートは含まない。

(2) (略)

5. 参考図

正面図



(10) 遮水シート規格

①・③ (略)

(11) 連節鉄筋 (鋼線) 規格区分

①～⑤ (略)

(新設)

(12) (略)

(新設)

(新設)

(13) (略)

4. 数量算出方法

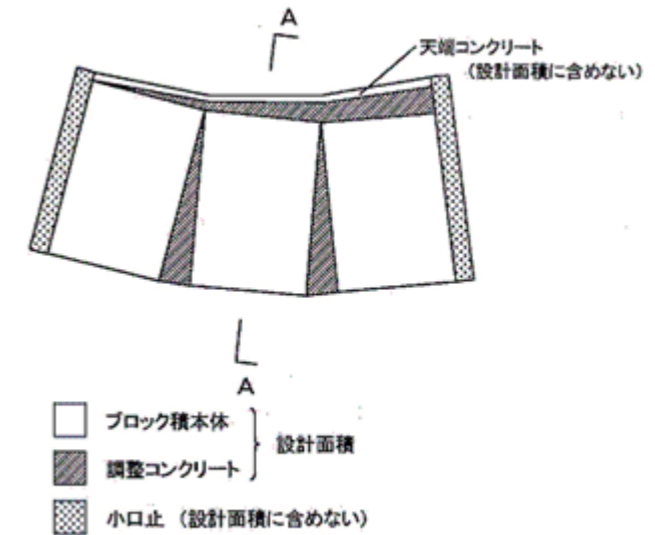
数量の算出は、「第1編 (共通編) 1章基本事項」によるほか、下記の方法による。

(1) 設置面積は調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、天端コンクリートは含まない。

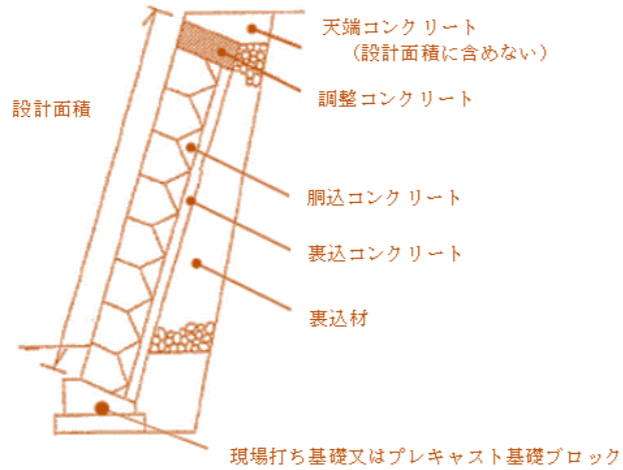
(2) (略)

5. 参考図

正面図



A-A断面



⑦ 石積（張）工

1・2 （略）

3. 区分

区分は、石の種類、直高、胴込・裏込コンクリート規格、裏込材規格、構造区分、玉石控、裏込材の有無、胴込・裏込材規格、積張の区分とする。

(1)～(6) （略）

関連数量算出項目

| 項目 | 単位 | 数量 | 備考 |
|---------------------|----------------------|----|----------------------------|
| 水抜パイプ（材料） | m | | 必要な場合別途計上 |
| 吸出し防止材（材料） | m ² | | 必要な場合別途計上 |
| 吸出し防止材設置工 | m ² | | 全面設置が必要な場合別途計上 |
| 現場打ち基礎コンクリート | m ³ | | 「コンクリートブロック積（張）工」参照 |
| 天端コンクリート | m ³ | | 「コンクリートブロック積（張）工」参照 |
| <u>小口止コンクリート</u> | <u>m³</u> | | <u>「コンクリートブロック積（張）工」参照</u> |
| <u>横帯（隔壁）コンクリート</u> | <u>m³</u> | | <u>「コンクリートブロック積（張）工」参照</u> |

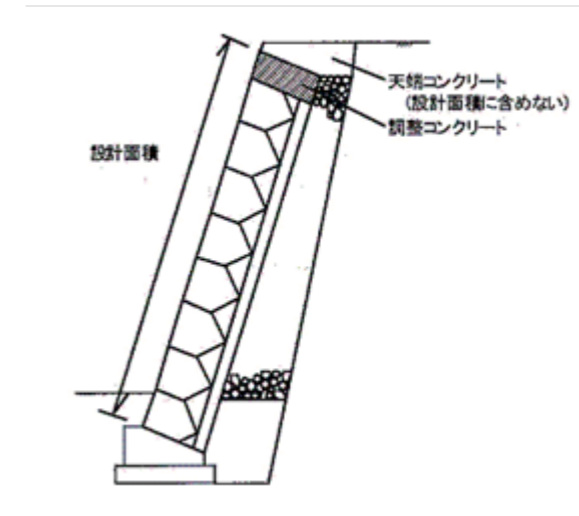
4 （略）

⑧ （略）

⑨ 場所打擁壁工（1）

1・2 （略）

A-A断面



⑦ 石積（張）工

1・2 （略）

3. 区分

区分は、石の種類、直高、胴込・裏込コンクリート規格、裏込材規格、構造区分、玉石控、裏込材の有無、胴込・裏込材規格、積張の区分とする。

(1)～(6) （略）

関連数量算出項目

| 項目 | 単位 | 数量 | 備考 |
|--------------|----------------|----|---------------------|
| 水抜パイプ（材料） | m | | 必要な場合別途計上 |
| 吸出し防止材（材料） | m ² | | 必要な場合別途計上 |
| 吸出し防止材設置工 | m ² | | 全面設置が必要な場合別途計上 |
| 現場打ち基礎コンクリート | m ³ | | 「コンクリートブロック積（張）工」参照 |
| 天端コンクリート | m ³ | | 「コンクリートブロック積（張）工」参照 |
| <u>（新設）</u> | <u>（新設）</u> | | <u>（新設）</u> |
| <u>（新設）</u> | <u>（新設）</u> | | <u>（新設）</u> |

4 （略）

⑧ （略）

⑨ 場所打擁壁工（1）

1・2 （略）

3. 区分

区分は、擁壁平均高さ、コンクリート規格、鉄筋量、基礎碎石の有無、均しコンクリートの有無、養生工の種類、圧送管延長距離区分とする。

(1) ~ (6) (略)

4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編（共通編）1章基本事項」によるほか、下記の方法による。

(1) (略)

(2) 基礎碎石厚さ 20cm を超える場合は、「基礎・裏込碎石工」による。

⑩・⑪ (略)

⑫ 補強土壁工（帯鋼補強土壁、アンカー補強土壁、ジオテキスタイル補強土壁）

1・2 (略)

3. 区分

区分は、規格、工法区分とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

| 項目 | 区分 | 規格 | 工法区分 | 単位 | 数量 | 備考 |
|--------------------------------|----|----|------|----------------|----|----|
| 補強土壁壁面材組立・設置 | | × | ○ | m ² | | |
| 補強土壁壁面材（材料費） | | ○ | × | m ² | | |
| 補強材取付（帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁） | | × | ○ | m | | |
| 補強材取付（ジオテキスタイル補強土壁（二重壁タイプ）） | | × | ○ | m | | |
| 補強材（材料費）（帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁） | | ○ | × | m | | |
| 補強材（材料費）（ジオテキスタイル補強土壁（二重壁タイプ）） | | ○ | × | m | | |
| まき出し・敷均し、締固め | | × | ○ | m ³ | | |
| 碎石投入（ジオテキスタイル補強土壁（二重壁タイプ）） | | × | × | m ³ | | |

(2) (略)

3. 区分

区分は、区分は、擁壁平均高さ、コンクリート規格、鉄筋量、基礎碎石の有無、均しコンクリートの有無、養生工の種類、圧送管延長距離区分とする。

(1) ~ (6) (略)

4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編（共通編）1章基本事項」によるほか、下記の方法による。

(1) (略)

(2) 基礎碎石厚さ 20cm を超える場合は、「基礎・裏込碎石工、基礎・裏込栗石工」による。

⑩・⑪ (略)

⑫ 補強土壁工（帯鋼補強土壁、アンカー補強土壁、ジオテキスタイル補強土壁）

1・2 (略)

3. 区分

区分は、規格、工法区分とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

| 項目 | 区分 | 規格 | 工法区分 | 単位 | 数量 | 備考 |
|--------------------------------|----|----|------|----------------|----|----|
| 補強土壁壁面材組立・設置 | | × | ○ | m ² | | |
| 補強土壁壁面材（材料費） | | ○ | × | m ² | | |
| 補強材取付（帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁） | | × | ○ | m | | |
| 補強材取付（ジオテキスタイル補強土壁（二重壁タイプ）） | | × | ○ | m | | |
| 補強材（材料費）（帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁） | | ○ | × | m | | |
| 補強材（材料費）（ジオテキスタイル補強土壁（二重壁タイプ）） | | ○ | × | m | | |
| まき出し・敷均し、締固め | | × | ○ | m ³ | | |
| 碎石投入（ジオテキスタイル補強土壁（二重壁タイプ）） | | × | × | m ³ | | |

(2) (略)

関連数量算出項目

| 項目 | 単位 | 数量 | 備考 |
|-------------------|-----------------|----|--------------|
| コンクリート（天端コンクリート部） | m ³ | | 「コンクリート工」参照 |
| 型枠（天端コンクリート部） | m ² | | 「型枠工」参照 |
| 鉄筋工（天端コンクリート部） | t | | 「鉄筋工」参照 |
| 足場 | 掛m ² | | 「足場工」参照 |
| 暗渠排水管 | m | | 「排水構造物工」参照 |
| フィルター材 | m ³ | | 「排水構造物工」参照 |
| コンクリート（補強土壁基礎部） | m ³ | | 「コンクリート工」参照 |
| 型枠（補強土壁基礎部） | m ² | | 「型枠工」参照 |
| 基礎材工（補強土壁基礎部） | m ² | | 「基礎・裏込砕石工」参照 |

4・5 (略)

⑬ 補強盛土工

1・2 (略)

3. 区分

区分は、規格とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

| 項目 | 区分 | 規格 | 単位 | 数量 | 備考 |
|----------------------|----|----|----------------|----|----|
| ジオテキスタイル壁面材 組立・設置 | | ○ | m ² | | |
| ジオテキスタイル壁面材 (材料費) | | ○ | m ² | | |
| ジオテキスタイル敷設 | | ○ | m ² | | |
| まき出し・敷均し・ <u>締固め</u> | | ○ | m ² | | |
| ジオテキスタイル (材料費) | | ○ | m ² | | |

注) (略)

関連数量算出項目
(略)

4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編（共通編）1章基本事項」によるほか、下記の方法による。

(1) (略)

関連数量算出項目

| 項目 | 単位 | 数量 | 備考 |
|-------------------|-----------------|----|--------------------------------|
| コンクリート（天端コンクリート部） | m ³ | | 「コンクリート工」参照 |
| 型枠（天端コンクリート部） | m ² | | 「型枠工」参照 |
| 鉄筋工（天端コンクリート部） | t | | 「鉄筋工」参照 |
| 足場 | 掛m ² | | 「足場工」参照 |
| 暗渠排水管 | m | | 「排水構造物工」参照 |
| フィルター材 | m ³ | | 「排水構造物工」参照 |
| コンクリート（補強土壁基礎部） | m ³ | | 「コンクリート工」参照 |
| 型枠（補強土壁基礎部） | m ² | | 「型枠工」参照 |
| 基礎材工（補強土壁基礎部） | m ² | | 「基礎・裏込砕石工、 <u>基礎・裏込栗石工</u> 」参照 |

4・5 (略)

⑬ 補強盛土工

1・2 (略)

3. 区分

区分は、規格とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

| 項目 | 区分 | 規格 | 単位 | 数量 | 備考 |
|----------------------|----|----|----------------|----|----|
| ジオテキスタイル壁面材 組立・設置 | | ○ | m ² | | |
| ジオテキスタイル壁面材 (材料費) | | ○ | m ² | | |
| ジオテキスタイル敷設 | | ○ | m ² | | |
| まき出し・敷均し・ <u>締固め</u> | | ○ | m ² | | |
| ジオテキスタイル (材料費) | | ○ | m ² | | |

注) (略)

関連数量算出項目
(略)

4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編（共通編）1章基本事項」によるほか、下記の方法による。

(1) (略)

(2) ジオテキスタイル壁面材（材料費）は規格ごとに壁面材面積当りの鋼製枠タイプの個数（個/ m²）を算出する（5. 参考図（1）参照）。
 なお、施工方法別の数量算出項目、及び壁面材の標準使用量は以下のとおりである。

1) 施工方法別の数量算出項目

| 適用 施工法 (工法) | ジオテキスタイル 壁面材組立・設置 | ジオテキスタイル敷設・ まき出し・敷均し・ <u>締固</u> め | 標準図 |
|-------------------|----------------------|---|-----------------|
| 鋼製枠タイプ工法 | ○ | ○ | 5. 参考図（1） 図A |
| 巻き込み工法 (壁面材なし) | × | ○ | 5. 参考図（1） 図B |
| 普通敷設工法 (壁面材なし) | × | ○ | 5. 参考図（1） 図C |

2) (略)

(3) ジオテキスタイル敷設の施工量は、ジオテキスタイル敷設面積を計上し、算出については下図及び次式の通りとする。

図 (略)

$$\text{ジオテキスタイル敷設面積} = a_1 + a_2 + a_3 + \dots \quad (\text{m}^2)$$

$a_1, a_2, a_3 \dots$ ジオテキスタイル工一段当たり敷設面積 (m²)

ジオテキスタイル一段当たり敷設面積は、補強盛土範囲における、一段当たりの底面積を算出するものとする。また、壁面補強材の面積も含み、巻き込み部の面積は含まないものとする。

図 (略)

(4) 補強盛土範囲以外の普通盛土工については、「第2編1章土工」により算出するものとする。

(5) ~ (7) (略)

5 (略)

⑭ 排水構造物工

1・2 (略)

3. 区分

区分は、数量算出項目及び区分一覧表によるものとする。

(1) ~ (4) (略)

(5) 規格区分

1)・2) (略)

3) コルゲートフリューム

- (削る)
- (削る)
- (削る)
- (削る)

(2) ジオテキスタイル壁面材（材料費）は規格ごとに壁面材面積当りの鋼製枠タイプの個数（個/ m²）を算出する（5. 参考図（1）参照）。
 なお、施工方法別の数量算出項目、及び壁面材の標準使用量は以下のとおりである。

1) 施工方法別の数量算出項目

| 適用 施工法 (工法) | ジオテキスタイル 壁面材組立・設置 | ジオテキスタイル敷設・ まき出し・敷均し・ <u>締固</u> め | 標準図 |
|-------------------|----------------------|---|-----------------|
| 鋼製枠タイプ工法 | ○ | ○ | 5. 参考図（1） 図A |
| 巻き込み工法 (壁面材なし) | × | ○ | 5. 参考図（1） 図B |
| 普通敷設工法 (壁面材なし) | × | ○ | 5. 参考図（1） 図C |

2) (略)

(3) ジオテキスタイル敷設の施工量は、ジオテキスタイル敷設面積を計上し、算出については下図及び次式の通りとする。

図 (略)

$$\text{ジオテキスタイル敷設面積} = a_1 + a_2 + a_3 + \dots \quad (\text{m}^2)$$

$a_1, a_2, a_3 \dots$ ジオテキスタイル工一段当たり敷設面積 (m²)

ジオテキスタイル一段当たり敷設面積は、ジオテキスタイル工盛土工範囲における、一段当たりの底面積を算出するものとし、巻き込み面積は含まないものとする。

図 (略)

(4) 補強盛土範囲以外の普通盛土工については、「第1編（共通編）2. 1土工」により算出するものとする。

(5) ~ (7) (略)

5 (略)

⑭ 排水構造物工

1・2 (略)

3. 区分

区分は、数量算出項目及び区分一覧表によるものとする。

(1) ~ (4) (略)

(5) 規格区分

1)・2) (略)

3) コルゲートフリューム

- ① 350×350
- ② 400×400
- ③ 500×500
- ④ 600×600

(削る)
(削る)
(削る)
(削る)
①・② (略)

(6) ~ (17) (略)

4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編(共通編)1章基本事項」によるほか、下記の方法による。

(1)・(2) (略)

(3) 基礎碎石厚さ20cmを超える場合は、「基礎・裏込碎石工」による。

⑮ 排水構造物工 現場打ち水路(本体)

1~3 (略)

4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編(共通編)1章基本事項」によるほか、下記の方法による。

(1) 基礎碎石厚さ20cmを超える場合は、「基礎・裏込碎石工」による。

⑯ 排水構造物工 現場打ち集水桝・街渠桝(本体)

1~3 (略)

4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編(共通編)1章基本事項」によるほか、下記の方法による。

(1) 基礎碎石厚さ20cmを超える場合は、「基礎・裏込碎石工」による。

⑰~⑳ (略)

㉓ 目地・止水板設置工

1. 適用

目地板、止水板、シール材の設置作業に適用する。

2. 数量算出項目

目地板の面積、止水板の延長、シール材の延長、シール材(材料費)の使用量を区分ごとに算出する。

3. 区分

目地板の1工事当り使用量および種類、止水板の種類とする。なお、シール材、シール材(材料費)には積算条件区分がない。

⑤ 700×700
⑥ 800×750
⑦ 900×800
⑧ 1,000×850
⑨・⑩ (略)

(6) ~ (17) (略)

4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編(共通編)1章基本事項」によるほか、下記の方法による。

(1)・(2) (略)

(3) 基礎碎石厚さ20cmを超える場合は、「基礎・裏込碎石工、基礎・裏込栗石工」による。

⑮ 排水構造物工 現場打ち水路(本体)

1~3 (略)

4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編(共通編)1章基本事項」によるほか、下記の方法による。

(1) 基礎碎石厚さ20cmを超える場合は、「基礎・裏込碎石工、基礎・裏込栗石工」による。

⑯ 排水構造物工 現場打ち集水桝・街渠桝(本体)

1~3 (略)

4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編(共通編)1章基本事項」によるほか、下記の方法による。

(1) 基礎碎石厚さ20cmを超える場合は、「基礎・裏込碎石工、基礎・裏込栗石工」による。

⑰~⑳ (略)

㉓ 目地・止水板設置工

1. 適用

目地板、止水板の設置作業に適用する。

2. 数量算出項目

目地板の面積、止水板の延長を区分ごとに算出する。

3. 区分

目地板の種類、止水板の種類とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

| 項目 | 区分 | 1工事当り使用量区分 | 目地板の種類 | 止水板の種類 | 単位 | 数量 | 備考 |
|--------------|----|------------|--------|--------|----------------|----|----|
| 目地板 | | ○ | ○ | × | m ² | | |
| 止水板 | | × | × | ○ | m | | |
| シーリング材 | | × | × | × | m | | |
| シーリング材 (材料費) | | × | × | × | L | | |

(2) 1 工事当り使用量区分

- ① 30m² 未満
- ② 30m² 以上

(3) (略)

(4) 止水板の種類

- ① 幅 FF200×5 mm (塩ビ製)
- ② 幅 FC200×5 mm (塩ビ製)
- ③ 幅 CF200×5 mm (塩ビ製)
- ④ 幅 CF230×9 mm (塩ビ製)
- ⑤ 幅 CC200×5 mm (塩ビ製)
- ⑥ 幅 UC300×7 mm (塩ビ製)
- ⑦ 幅 S. R200×5 mm (塩ビ製)
- ⑧ 幅 S. SF200×5 mm (塩ビ製)
- ⑨ 各種 (塩ビ製)
- ⑩ 各種 (ゴム製)

4 (略)

24・25 (略)

26 発泡スチロールを用いた超軽量盛土工

1・2 (略)

3. 区分

区分は、規格、雑工種、生コンクリート規格、養生工、圧送管延長距離、床板厚さ、溶接金網規格、鉄筋量、盛土高、付帯工の割合、砕石の種類とする。

(1) ~ (10) (略)

関連数量算出項目

| 項目 | 単位 | 数量 | 備考 |
|-----------------------|----------------|----|--------------|
| コンクリート (基礎コンクリート部) | m ³ | | 「コンクリート工」参照 |
| 型枠 (基礎コンクリート部) | m ² | | 「型枠工」参照 |
| 鉄筋工 (基礎コンクリート部) | t | | 「鉄筋工」参照 |
| 基礎材 (基礎コンクリート部) | m ² | | 「基礎・裏込砕石工」参照 |

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

| 項目 | 区分 | (新設) | 目地板の種類 | 止水板の種類 | 単位 | 数量 | 備考 |
|-----|----|------|--------|--------|----------------|----|----|
| 目地板 | | (新設) | ○ | × | m ² | | |
| 止水板 | | (新設) | × | ○ | m | | |
| | | (新設) | (新設) | (新設) | (新設) | | |
| | | (新設) | (新設) | (新設) | (新設) | | |

(新設)

(2) (略)

(3) 止水板の種類

- ① FF200×5
- ② FC200×5
- ③ CF200×5
- (新設)
- ④ CC200×5
- ⑤ UC300×7
- ⑥ S. R200×5
- ⑦ S. SF200×5
- ⑧ 各種
- (新設)

4 (略)

24・25 (略)

26 発泡スチロールを用いた超軽量盛土工

1・2 (略)

3. 区分

区分は、規格、雑工種、生コンクリート規格、養生工、圧送管延長距離、床板厚さ、溶接金網規格、鉄筋量、盛土高、付帯工の割合、砕石の種類とする。

(1) ~ (10) (略)

関連数量算出項目

| 項目 | 単位 | 数量 | 備考 |
|-----------------------|----------------|----|-----------------------|
| コンクリート (基礎コンクリート部) | m ³ | | 「コンクリート工」参照 |
| 型枠 (基礎コンクリート部) | m ² | | 「型枠工」参照 |
| 鉄筋工 (基礎コンクリート部) | t | | 「鉄筋工」参照 |
| 基礎材 (基礎コンクリート部) | m ² | | 「基礎・裏込砕石工、基礎・裏込栗石工」参照 |

4・5 (略)

㉗ (略)

㉘ 函渠工 (1)

1～3 (略)

4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編 (共通編) 1章基本事項」によるほか、下記の方法による。

(1) 基礎碎石厚さ 20cm を超える場合は、「基礎・裏込碎石工」による。

(2) (略)

㉙・㉚ (略)

第3章 コンクリート工

① コンクリート工

1. 適用

一般的な構造物のコンクリート打設、モルタル練に適用する。
ただし、ダムコンクリート、トンネル覆工コンクリート、治山ダム工コンクリート、コンクリート舗装 (路面工)、消波根固めブロック工、コンクリート桁及び軽量コンクリート等の特殊コンクリート打設、張りコンクリート工、場所打擁壁工、函渠工、橋台・橋脚工、には適用しない。

2. 数量算出項目

コンクリート、均しコンクリート、モルタル練の数量を区分ごとに算出する。

3. 区分

区分は、構造物種別、打設工法、コンクリート規格、設計日打設量、養生工の種類、圧送管延長距離区分、現場内小運搬の有無、打設高さ、水平距離、セメント種類とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

| 項目 \ 区分 | 構造物種別 | 打設工法 | コンクリート規格 | 設計日打設量 | 養生工の種類 | 圧送管距離区分 | 現場内小運搬の有無 | 水平打設距離 | 打設高さ、 現場内小運搬の有無 | <u>セメント種類</u> | 単位 | 数量 | 備考 |
|--------------|-------|------|----------|--------|--------|---------|-----------|--------|--------------------|---------------|----------------|----|---------------------------|
| コンクリート | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | m ³ | | |
| 均しコンクリート | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | m ² | | 参考として施工厚さ (cm) 及び体積を算出する。 |
| <u>モルタル練</u> | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | m ³ | | |

(2)～(8) (略)

4・5 (略)

㉗ (略)

㉘ 函渠工 (1)

1～3 (略)

4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編 (共通編) 1章基本事項」によるほか、下記の方法による。

(1) 基礎碎石厚さ 20cm を超える場合は、「基礎・裏込碎石工、基礎・裏込栗石工」による。

(2) (略)

㉙・㉚ (略)

第3章 コンクリート工

① コンクリート工

1. 適用

一般的な構造物のコンクリート打設に適用する。
ただし、ダムコンクリート、トンネル覆工コンクリート、治山ダム工コンクリート、コンクリート舗装 (路面工)、消波根固めブロック工、コンクリート桁及び軽量コンクリート等の特殊コンクリート打設、張りコンクリート工、場所打擁壁工、函渠工、橋台・橋脚工、には適用しない。

2. 数量算出項目

コンクリート、均しコンクリートの数量を区分ごとに算出する。

3. 区分

区分は、構造物種別、打設工法、コンクリート規格、設計日打設量、養生工の種類、圧送管延長距離区分、現場内小運搬の有無、打設高さ、水平距離とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

| 項目 \ 区分 | 構造物種別 | 打設工法 | コンクリート規格 | 設計日打設量 | 養生工の種類 | 圧送管距離区分 | 現場内小運搬の有無 | 水平打設距離 | 打設高さ、 現場内小運搬の有無 | (新設) | 単位 | 数量 | 備考 |
|----------|-------|------|----------|--------|--------|---------|-----------|--------|--------------------|------|----------------|----|---------------------------|
| コンクリート | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | (新) | m ³ | | |
| 均しコンクリート | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | (新) | m ² | | 参考として施工厚さ (cm) 及び体積を算出する。 |
| (新設) | (新) | (新) | (新) | (新) | (新) | (新) | (新) | (新) | (新) | (新) | (新) | | |

(2)～(8) (略)

(9) セメント種類区分

- ① 普通
- ② 高炉

4 (略)

②・③ (略)

第4章～第6章 (略)

第7章 道路舗装

① (略)

② アスファルト舗装工

1・2 (略)

3. 区分

区分は、基層・中間層・表層は平均幅員、1層当たり平均仕上り厚さ、材料、瀝青材料種類とし、アスカーブは断面積、材料とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

| 項目 | 区分 | | 材料 | 瀝青材料種類 | 断面積 | 単位 | 数量 | 備考 |
|--------------|------|--------------|----|--------|-----|----------------|----|----|
| | 平均幅員 | 1層当たり平均仕上り厚さ | | | | | | |
| 基層 (車道・路肩部) | ○ | ○ | ○ | ○ | × | m ² | | |
| 中間層 (車道・路肩部) | ○ | ○ | ○ | ○ | × | m ² | | |
| 表層 (車道・路肩部) | ○ | ○ | ○ | ○ | × | m ² | | |
| 基層 (歩道部) | ○ | ○ | ○ | ○ | × | m ² | | |
| 中間層 (歩道部) | ○ | ○ | ○ | ○ | × | m ² | | |
| 表層 (歩道部) | ○ | ○ | ○ | ○ | × | m ² | | |
| アスカーブ | × | × | ○ | × | ○ | m | | |

(アスファルト舗装の構成例)

図 (略)

(2)～(5) (略)

4 (略)

③ (略)

第8章 道路附属施設

①～③ (略)

(削る)

(新設)

4 (略)

②・③ (略)

第4章～第6章 (略)

第7章 道路舗装

① (略)

② アスファルト舗装工

1・2 (略)

3. 区分

区分は、基層・中間層・表層は平均幅員、1層当たり平均仕上り厚さ、材料、瀝青材料種類とし、アスカーブは断面積、材料とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

| 項目 | 区分 | | 材料 | 瀝青材料種類 | 断面積 | 単位 | 数量 | 備考 |
|--------------|------|--------------|----|--------|-----|----------------|----|----|
| | 平均幅員 | 1層当たり平均仕上り厚さ | | | | | | |
| 基層 (車道・路肩部) | ○ | ○ | ○ | ○ | × | m ² | | |
| 中間層 (車道・路肩部) | ○ | ○ | ○ | ○ | × | m ² | | |
| 表層 (車道・路肩部) | ○ | ○ | ○ | ○ | × | m ² | | |
| 基層 (歩道部) | ○ | ○ | ○ | ○ | × | m ² | | |
| 中間層 (歩道部) | ○ | ○ | ○ | ○ | × | m ² | | |
| 表層 (歩道部) | ○ | ○ | ○ | ○ | × | m ² | | |
| アスカーブ | × | × | ○ | × | ○ | m | | |

(アスファルト舗装の構成例)

図 (略)

(2)～(5) (略)

4 (略)

③ (略)

第8章 道路附属施設

①～③ (略)

④ トンネル内装板設置工

1. 適用

トンネル内装板設置工の側壁用内装板のみに適用する。

2. 数量算出項目

トンネル内装板設置、トンネル内装板（材料費）の数量を算出する。

3. 区分

区分は、規格とする。

(1) 数量算出項目一覧表

| 項目 | 規格 | 単位 | 数量 | 備考 |
|--------------|----|----------------|----|----|
| トンネル内装板設置 | × | m ² | | |
| トンネル内装板（材料費） | ○ | m ² | | |

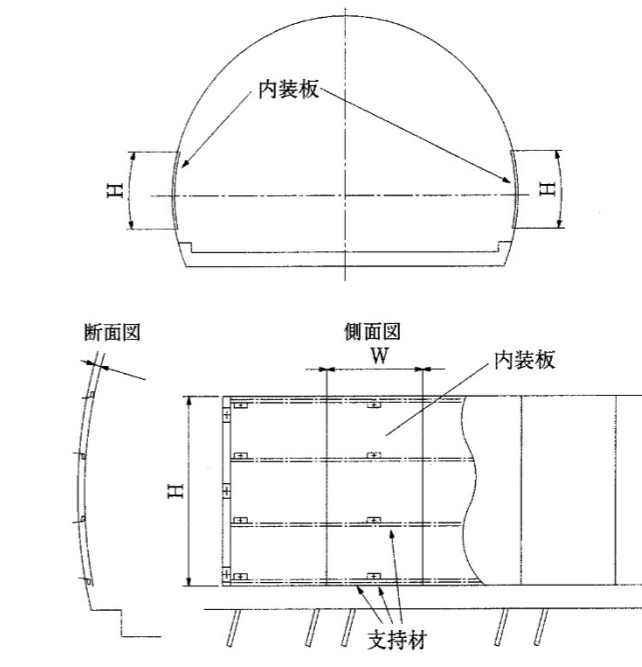
関連数量算出項目

| 項目 | 単位 | 数量 | 備考 |
|-------|-----------------|----|-----------|
| 足場 | 掛m ² | | 必要な場合別途計上 |
| 高所作業車 | | | 必要な場合別途計上 |

4. 数量算出方法

数量算出は、「第1編（共通編）1章基本事項」による。

5. 参考図（トンネル断面取付一般図）



⑤・⑥ (略)

第9章 道路維持修繕
①～⑨ (略)

④・⑤ (略)

第9章 道路維持修繕
①～⑨ (略)

⑩ 橋梁補修工（支承取替工）

1・2 (略)

3. 区分

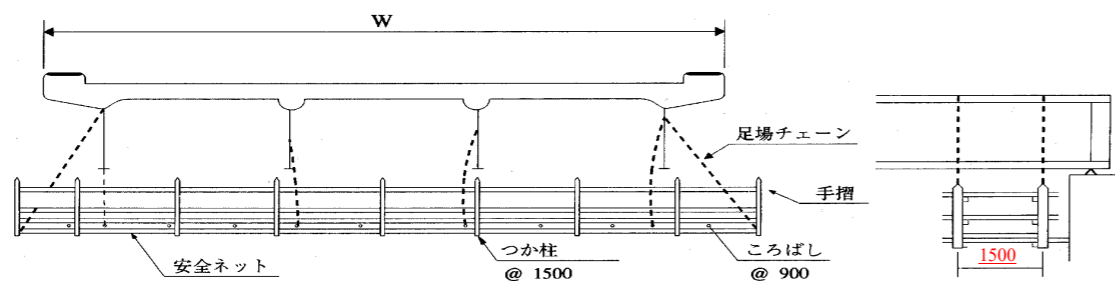
区分は、規格、支承形式、現場条件、下部工ブラケット取付の有無、供用月数とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

表 (略)

注) 1 (略)

2. 支承取替工における足場工は、下図に示す橋脚回り足場を標準とする。
 なお、現場条件等により、これによりがたい場合は別途考慮するものとする。



(2) ~ (4) (略)

4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編（共通編）1章基本事項」によるほか、下記の方法による。

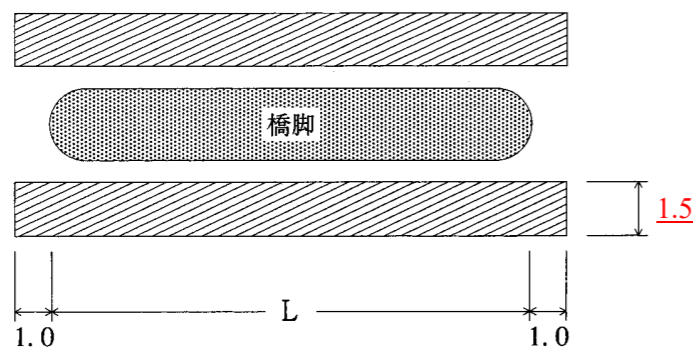
(1) (略)

(2) 足場面積は、現場条件、施工条件等を考慮して必要面積を算定するものとするが、一般には次式により算定する。

$$\text{足場面積 } A = (L + 1.0 \times 2) \times 1.5 \times 2 \times n$$

L: 橋台及び橋脚の長さ (m)

n: 橋台及び橋脚の数 (ただし、橋台の場合は 1/2 とする。)



⑪ (略)

⑩ 橋梁補修工（支承取替工）

1・2 (略)

3. 区分

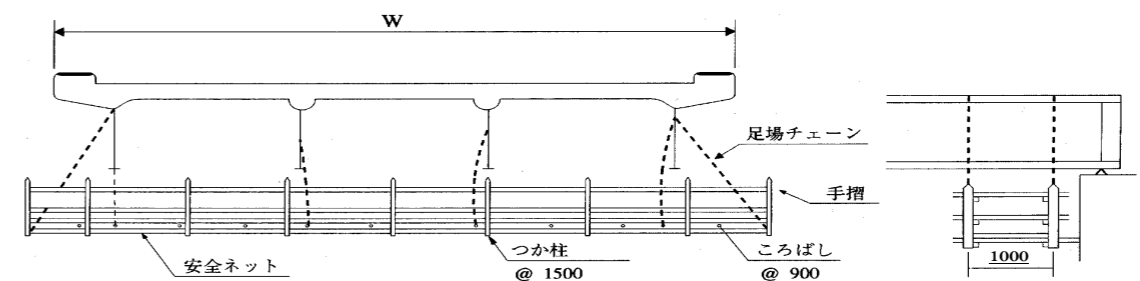
区分は、規格、支承形式、現場条件、下部工ブラケット取付の有無、供用月数とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

表 (略)

注) 1 (略)

2. 支承取替工における足場工は、下図に示す橋脚回り足場を標準とする。
 なお、現場条件等により、これによりがたい場合は別途考慮するものとする。



(2) ~ (4) (略)

4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編（共通編）1章基本事項」によるほか、下記の方法による。

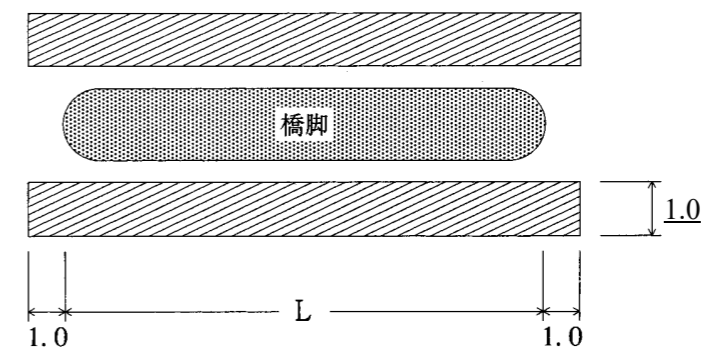
(1) (略)

(2) 足場面積は、現場条件、施工条件等を考慮して必要面積を算定するものとするが、一般には次式により算定する。

$$\text{足場面積 } A = (L + 1.0 \times 2) \times 1.5 \times 2 \times n$$

L: 橋台及び橋脚の長さ (m)

n: 橋台及び橋脚の数 (ただし、橋台の場合は 1/2 とする。)



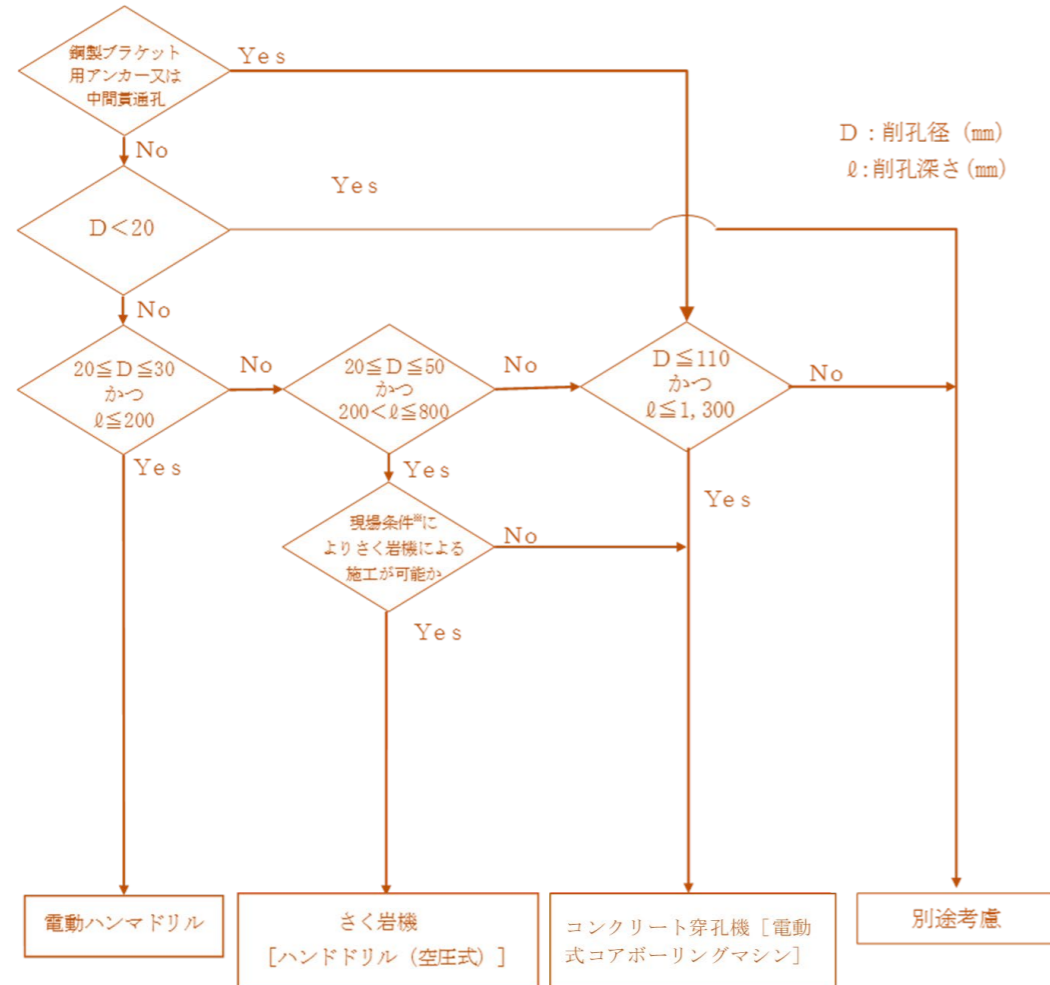
⑪ (略)

⑫ 落橋防止装置工

1～4 (略)

5. 参考

コンクリート削孔機種の選定は、下記を標準とする。



※現場条件とは、作業スペース、騒音・振動による制限及び既設配筋間隔等による施工障害とする。

⑬ (略)

⑭ 路面清掃工 (人力清掃工)

1. 適用

人力による路肩部、歩道、横断歩道部、地下道、中央分離帯の清掃作業に適用する。

2～4 (略)

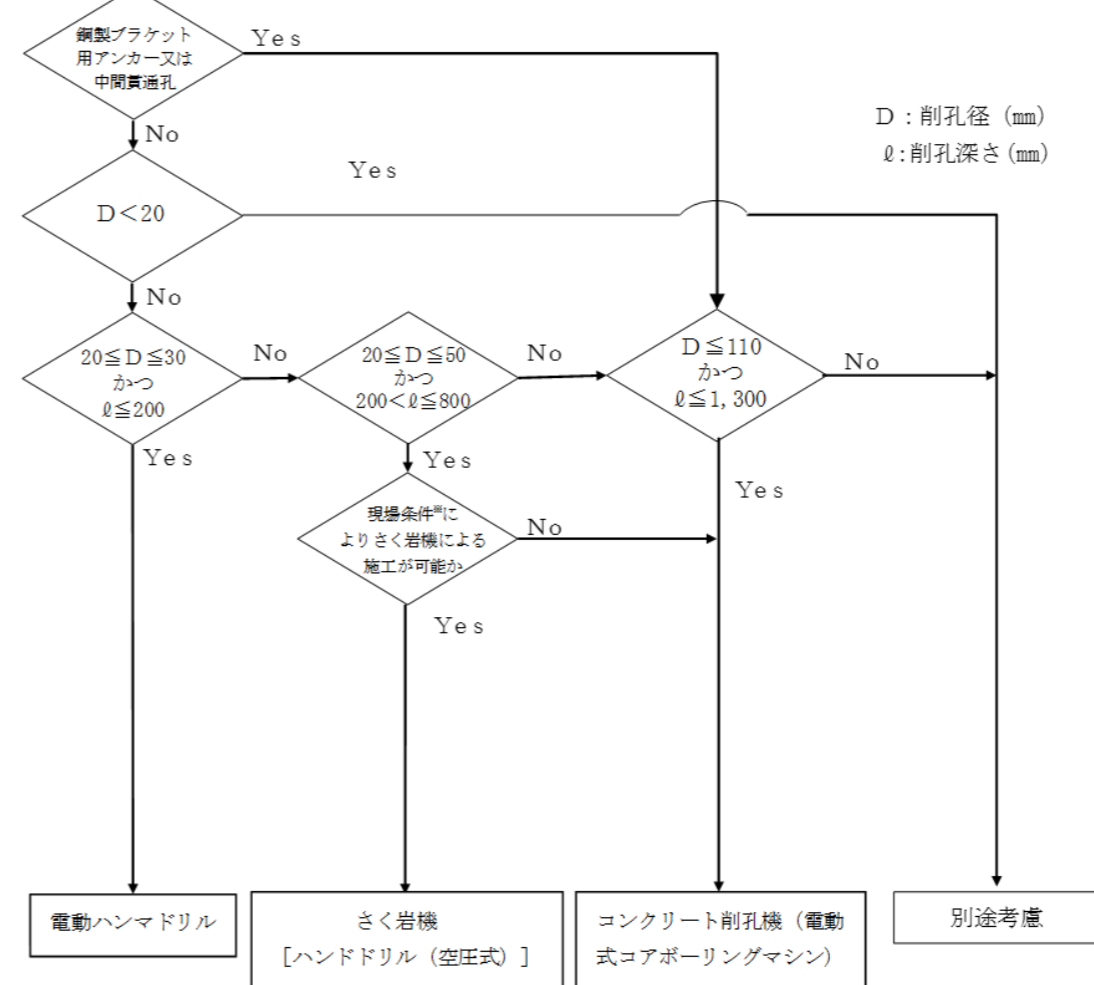
⑮ (略)

⑫ 落橋防止装置工

1～4 (略)

5. 参考

コンクリート削孔機種の選定は、下記を標準とする。



※現場条件とは、作業スペース、騒音・振動による制限及び既設配筋間隔等による施工障害とする。

⑬ (略)

⑭ 路面清掃工 (人力清掃工)

1. 適用

人力による路肩部、歩道、横断歩道部、地下道、中央分離帯の清掃作業に適用する。

2～4 (略)

⑮ (略)

⑩ 集水桝清掃工（人力清掃工）

1. 適用

人力による集水桝及び街渠桝の清掃作業に適用し、桝の内寸法は□70cm以下、桝深さは100cm以下とする。

2～4 （略）

⑰～⑱ （略）

（削る）

⑩ 集水桝清掃工（人力清掃工）

1. 適用

人力による集水桝及び街渠桝の清掃作業に適用し、桝の内寸法は□70cm以下、桝深さは100cm以下とする。

2～4 （略）

⑰～⑱ （略）

⑲ 路肩整正工（人力による土はね）

1. 適用

道路維持作業における路肩整正（人力による土はね、厚さ10cmまで、幅1.0mまで）作業に適用する。

2. 数量算出項目

路肩整正（人力による土はね）の面積を区分ごとに算出する。

3. 区分

区分は、DID区間の有無、運搬距離とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

| 項目 | 区分 | DID区間の有無 | 運搬距離 | 単位 | 数量 | 備考 |
|--------------------|----|----------|------|----------------|----|----|
| 路肩整正 (人力による土はね) | | ○ | ○ | m ² | — | |

注) 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは、平均値とする。

（2）運搬距離区分

1) DID 区間無し

- ① 2.0km 以下
- ② 3.0km 以下
- ③ 5.0km 以下
- ④ 6.5km 以下
- ⑤ 8.5km 以下
- ⑥ 11.0km 以下
- ⑦ 16.0km 以下
- ⑧ 27.5km 以下
- ⑨ 60.0km 以下

2) DID 区間有り

- ① 1.5km 以下
- ② 2.5km 以下
- ③ 4.5km 以下
- ④ 6.0km 以下
- ⑤ 8.0km 以下
- ⑥ 10.5km 以下
- ⑦ 14.5km 以下
- ⑧ 23.0km 以下
- ⑨ 60.0km 以下

第10章 (略)

第11章 その他

① 現場発生品及び支給品運搬

1. 適用

片道運搬距離 65km 以下の現場発生材及び支給材の積込み、荷卸し及び指定箇所までの運搬に適用する。

2. 数量算出項目

質量を区分ごとに算出する。

3. 区分

区分は、トラック機種、DID 区間の有無、片道運搬距離とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

| 項目 | 区分 | | | | 単位 | 数量 | 備考 |
|-------------------|--------|------------------|--------|-------------|----|----|----|
| | トラック機種 | <u>DID 区間の有無</u> | 片道運搬距離 | <u>(削る)</u> | | | |
| 現場発生品及び支給品積込み・荷卸し | ○ | × | × | | t | | |
| 現場発生材・支給品運搬 | ○ | ○ | ○ | <u>(削る)</u> | t | | |

(2) トラック機種

- ① トラック[クレーン装置付] ベーストラック 2t 級、吊能力 2.9t
- ② トラック[クレーン装置付] ベーストラック 4~4.5t 級、吊能力 2.9t

(3) 片道運搬距離

- (削る)
- (削る)
- (削る)
- (削る)
- (削る)
- (削る)
- (削る)
- (削る)

関連数量算出項目

| 項目 | 単位 | 数量 | 備考 |
|-------|----------------|----|-----------|
| 残土処分費 | m ³ | | 必要な場合別途計上 |

4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編（共通編）1章基本事項」によるほか、下記の方法による。

- (1) 残土は、5 m³/100 m²とする。

第10章 (略)

第11章 その他

① 現場発生品及び支給品運搬

1. 適用

片道運搬距離 60km 以下の現場発生材及び支給材運搬に適用する。

2. 数量算出項目

運搬回数を区分ごとに算出する。

3. 区分

区分は、トラック機種、片道運搬距離、1 回当たり平均積載質量とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

| 項目 | 区分 | | | | 単位 | 数量 | 備考 |
|-------------|-------------|-------------|-------------|---------------------|-------------|----|----|
| | トラック機種 | <u>(新設)</u> | 片道運搬距離 | <u>1 回当たり平均積載質量</u> | | | |
| <u>(新設)</u> | <u>(新設)</u> | <u>(新設)</u> | <u>(新設)</u> | | <u>(新設)</u> | | |
| 現場発生材・支給品運搬 | ○ | <u>(新設)</u> | ○ | ○ | 回 | | |

(2) トラック機種

- ① クレーン装置付 ベーストラック 2t 級、吊能力 2t
- ② クレーン装置付 ベーストラック 4t 級、吊能力 2.9t

(3) 片道運搬距離

- ① 2.0km 以下
- ② 5.0km 以下
- ③ 9.0km 以下
- ④ 14.0km 以下
- ⑤ 20.0km 以下
- ⑥ 27.0km 以下
- ⑦ 35.0km 以下
- ⑧ 46.0km 以下
- ⑨ 60.0km 以下

1) DID 区間無し

- ① 2.0km 以下
- ② 4.0km 以下
- ③ 6.0km 以下
- ④ 8.5km 以下
- ⑤ 11.0km 以下
- ⑥ 14.0km 以下
- ⑦ 17.0km 以下
- ⑧ 20.5km 以下
- ⑨ 24.0km 以下
- ⑩ 28.0km 以下
- ⑪ 32.5km 以下
- ⑫ 37.5km 以下
- ⑬ 43.0km 以下
- ⑭ 49.0km 以下
- ⑮ 55.5km 以下
- ⑯ 62.5km 以下
- ⑰ 65.0km 以下

2) DID 区間有り

- ① 1.5km 以下
- ② 3.0km 以下
- ③ 5.0km 以下
- ④ 7.0km 以下
- ⑤ 9.0km 以下
- ⑥ 11.5km 以下
- ⑦ 14.0km 以下
- ⑧ 17.0km 以下
- ⑨ 20.0km 以下
- ⑩ 23.5km 以下
- ⑪ 27.5km 以下
- ⑫ 31.5km 以下
- ⑬ 36.0km 以下
- ⑭ 41.0km 以下
- ⑮ 46.5km 以下
- ⑯ 52.5km 以下
- ⑰ 59.0km 以下
- ⑱ 65.0km 以下

(削る)

(新設)

(新設)

(4) 1 回当たり平均積載質量

1) クレーン装置付 ベーストラック 2t 級、吊能力 2t

- ① 0.1t 以下
- ② 0.1t 超 0.2t 以下
- ③ 0.2t 超 0.3t 以下
- ④ 0.3t 超 0.5t 以下
- ⑤ 0.5t 超 0.8t 以下
- ⑥ 0.8t 超 1.1t 以下
- ⑦ 1.1t 超 1.5t 以下
- ⑧ 1.5t 超 2.0t 以下

2) クレーン装置付 ベーストラック 4t 級、吊能力 2.9t

- ① 0.1t 以下
- ② 0.1t 超 0.2t 以下
- ③ 0.2t 超 0.3t 以下
- ④ 0.3t 超 0.5t 以下
- ⑤ 0.5t 超 0.8t 以下
- ⑥ 0.8t 超 1.1t 以下
- ⑦ 1.1t 超 1.5t 以下
- ⑧ 1.5t 超 2.0t 以下

| | |
|-------|--|
| 4 (略) | ⑨ 2.0t 超 2.6t 以下 ⑩ 2.6t 超 2.95t 以下 4 (略) |
|-------|--|

附 則
この通知は令和6年4月1日から施行する。